

むつみ

第46号 2000. 1



福島県土地改良団体職員連絡協議会

目

次

新年のご挨拶 福島県土地改良団体職員連絡協議会

会長 松本 充弘

『私ひとりの受賞じゃない』
月形中野土地改良区
渡部 千恵子

新年のご挨拶 福島県土地改良事業団体連合会

副会長 黒澤 清

大竹 幸

中学校の部活 土地連

尾形 長市郎

山都町土地改良区

俺の元気 土地連

遠藤 敏雄

工藤 純久

短期に集中して起きた事 安積疏水土地改良区

遠藤 準也

土地連

「地球に対する身近な倫理」 土地連

北原 大

土地連

氣が付けば花嫁の父 土地連

石澤 邦茂

土地連

春泥という言葉 土地連

松村房雄

土地連

一〇〇〇年 北会津土地改良区

大竹 幸

編集子

撮影：猪苗代町

農村景観写真コンクール 風景の部

銀賞受賞作品

「五月の空の下で」

表紙写真

撮影：猪苗代町

野矢 千里 氏

農村景観写真コンクール 風景の部
銀賞受賞作品
「五月の空の下で」

新年のご挨拶



福島県土地改良団体職員連絡協議会

会長 松本 充弘

当協会では昨年度も盛り沢山の事業を実施しております。

第二十三回目の総会を柳津町のつきみが丘町民センターにて一一六名の多数のご参加のもと盛会裡に開催致しました。会津若松市湊土地改良区の大竹正夫さんの議長により七議案全て満場一致によりご承認を頂きました。次に永年勤続職員四十六名の皆様方を表彰させて頂きました。受賞されました皆様に心からご祝福を致しますと共に今後ますますのご活躍をご祈念致ります。

終了後、場所を「ホテルかわち」に移動して情報交換会を佐藤昭郎参議院議員にも講演に引き続き参加を頂きアルコールの力を借りて和やかにも盛り沢山の情報の交換をいたしました。

又、九月十九日から二十三日迄の日程にて第三回目となる中国視察研修を十八名の参加のもと事故等もなく大変有意義な視察であったことであります、是非今年来年と続けたいものです。

更に十一月四日と五日に前年度災害により中止となりました県外研修を二十六名の参加のもと千葉県大利根土地改良区の事業について視察研修を実施致しました。四日の早朝より五日の遅くまで大変お疲れ様でした。

地区もあって前途多難かと思われましたが、県内全体の稻作は一〇五前後の作況指数ということで何とか報われた感があつたものと思われます。いかに米が余っているとはいえ三十三%の転作の時に決して心底からは喜べない農家のこの実態をお上の方々は果たしてご存じなのでしょうか。

本年度には土地改良法が改正されます。内容についてどの程度の規模になるのか定かではありませんが二十一世紀の各土地改良区が足腰を据えて堅実な歩みのなかで施設を管理し、事業の促進と実施、そして組合員が満足できる改正になるよう願うものです。

会員の皆様には本年もご健康にてますますのご活躍をご祈念申し上げまして一言新年の挨拶といたします。

自然界の摂理ではありますが農業ほど自然気象の影響を受けるものはありません。水の欲しいときに雨が降る、温度が欲しいときに暖かくなる、ミレニアムの早い時期に夢が現実になつて欲しいものです。

新年のご挨拶



福島県土地改良団体連合会

副会長 黒 澤 清

補助制度の創設や中山間地域等への直接支払いなど多くの新規事業を創設することにしております。そのため、土地連といたしましても、農業農村整備の重要性を十分に認識した上で、その指導的役割を一層發揮すると共に、業務効率化、技術力の向上はもとより、事業の開発・研究に取組み、会員土地改良区の利益増進に務めて参りたいと考えております。最後になりましたが、会員の皆様方のご健勝と、益々のご発展を祈念いたしましたが、新年のご挨拶といたします。

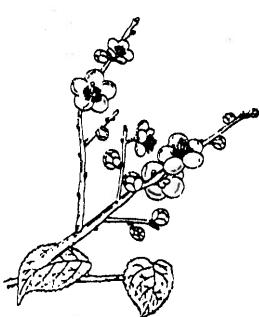
平成十二年の新春を迎えて、謹んでご挨拶申し上げます。

土地改良団体職員連絡協議会会員の皆様におかれましては、西暦二〇〇〇年という節目の初春を健やかにお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

また、土地連の業務運営及び農業農村整備事業の推進につきましては、日頃より特段のご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、昨年の農業関係の大きな動きといたしましては、食料の安定供給の確保、多面的機能の發揮、農業の持続的発展、農村の振興の四つを基本理念とする『食料・農業・農村基本法』が制定され、農業農村が自然環境の維持、保全を図りつつ本来の機能を十分に發揮して農業農村の再構築を図るうとするものであります。

国におきましては、この新基本法に示された理念の実現を目指して、土地改良法をはじめとする関係法制度の整備や食料、農業及び農村に関する施策の具体化計画である「食料・農業・農村基本計画」の検討を進めるとともに、土地改良区の基幹的農業水利施設の管理に対する



第一回総会

本協議会の第一回総会は、去る平成十一年七月十五日柳津町つきみが丘町民センターにおいて会員及び多数の来賓の出席をいただき開催された。

事務局の司会で、松本会長（謹）

川土地改良区）の挨拶のあと、永年勤続者表彰が行われ、表彰状と記念品が贈られた。

表彰されました方々は次頁のとおりです。受賞者の皆様おめでとうございます。健康に留意されまして益々

会長挨拶

本日、ここに平成十一年度通常総会を開催いたしましたところ、ご来賓の皆様にはご多忙中にもかかわらずご臨席下さいまして心から厚くお礼申し上げます。

また、会員の皆様には多数ご出席を頂き、盛会裡に開催出来ます

ことは本協議会はもとより農業農村整備事業の推進のため誠にご同慶に堪えないところであります。

ご承知のとおり、現在の農業農村を取り巻く情勢は、米の関税化に伴う国際競争に対応出来る新たな施策展開が求められていると共に、新しい農業基本法の制定を受



位置付けなどを踏まえ、改正が求められているところでございます。

とりわけ、農業農村は食料生産という使命や、自然環境の維持、更には地域特性に根ざした伝統文化を育み、社会形成のために大きく寄与しておられます。

これらの役割を今後も引き続けることに変わりはないと考えるところでございます。

今後も、皆様方におかれましては、各種事業を積極的に実施されると思いますが、本協議会といたしましても、地域づくりのために、積極的に協力してゆきたいと考えております。

次に、事業計画による昨年度の研修について申し上げますと、残念なことに、県外研修は災害により中止

の御活躍を祈念いたします。

続いて飯野陽一郎土地連副会長、

新井田正彦柳津町長からそれぞれ祝辞を頂戴した後、議事に入り、議長に会津若松市湊土地改良区の大竹正夫氏を選出した。議長の挨拶後、平成十一年度事業報告及び収支決算が一括議題として事務局の説明、監査員の監査結果報告後、原案どおり承認された。

次に平成十一年度補正予算、平成十二年度事業計画、収支予算並びに会費・協賛金の額及び微収方法を提案し、事務局の説明後いづれも原案どおり可決された。

また、規約の改正について提案があり、事務局の説明後原案どおり可決された。

となりましたが、総会時の研修会や、海外研修について実施することが出来たことは、誠に有意義であったと思います。

今後も会員の要望に沿った先進地研修を実施する計画でありますので、一層のご協力を願うる次第であります。

本日の総会には平成十一年度決算報告案件をはじめ、四件の議案を提出しておりますので、慎重にご審議頂き円滑に議事が終了出来ますようお願い致しましてご挨拶といたします。

永年勤続者表彰



		所 属 团 体 名		福島県土地改良事業団体連合会		氏 名	
		二十 年 勤 続		十 年 勤 続			
福島県土地改良事業団体連合会	"	月形中野土地改良区	"	会津北部土地改良区	"	府野久仁子	渡辺正子
福島県土地改良事業団体連合会	"	相馬市土地改良区	"	北会津土地改良区	"	阿部恒男	熊坂史子
土 谷 尚	今 井 賢 二	佐藤征一	渡部康徳	天野勇一	高笠喜市	青木玲子	石川博利
					蓮沼盛雄		三上多恵子

職員業務研修会

○職員業務研修会

本協議会主催の研修会は、現地研修の県営ほ場整備事業（担い手育成型）郷戸地区・県営広域営農団地農道整備事業会津地区的説明を柳津町

土地改良区小島貞彦氏に、「農業農村整備と土地改良区の役割について」を県土地連副会長黒澤清氏に、「農業農業農村をめぐる諸情勢について『食料・農業・農村基本法を踏まえて』

を参議院議員佐藤昭郎氏に、それぞれ講演をいただいた。

また、翌日は現地研修とし、県営ほ場整備事業（担い手育成型）郷戸地区・県営広域営農団地農道整備事業会津地区的見学を行った。各講師の先生には、公務ご多忙のところお引受け頂きありがとうございました。



県外研修

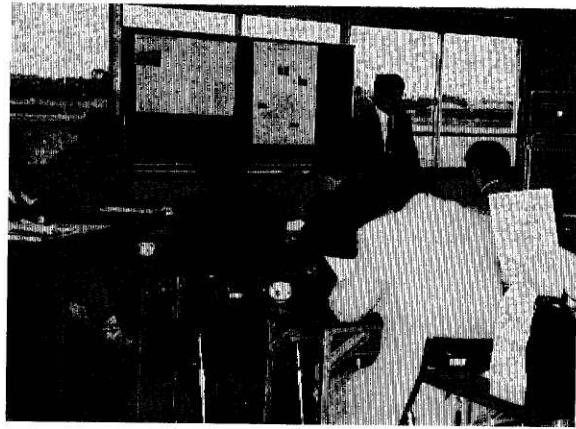
平成十一年十一月四日（木）～五
日（金）に平成十年八月末の水害に
より延期しておりました千葉県かん
がい排水事業「大利根地区」の視察
研修を行ないました。

研修地の概要等について紹介いた
します。

◆ 大利根用水の確立

九十九里沿岸の低湿砂丘地は、か
つて塩場として、あるいは地曳・揚
縄の漁場として利用されていました
が、やがて、これらの衰退とともに

農地としての開発が進められてきま
した。



用水源は、地区内河川の背後流域
が小さいため、上流部では溜池や惣
堀を設け、また、下流部では河川を
堰止めるなどにより用水を確保して
きました。しかし、これらの施設の
改廃が進むにしたがい、しばしば旱
魃に見舞われるようになり、特に大
正十三年の旱魃を契機として利根川
からの引水が九十九里沿岸農民の切
実な宿願となりました。

○事業の経緯

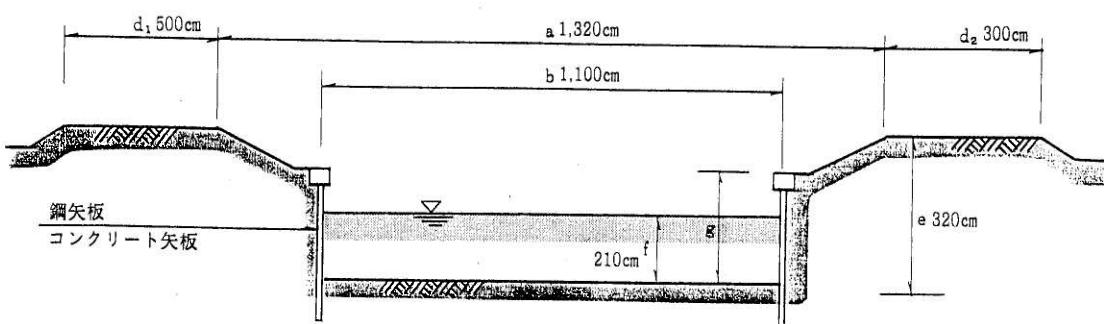
41～44年 調査計画

45年 事業計画の確定及び全体実施計画

46年 着工 受益面積4,925ha、事業費2,820,000千円により支線用水路5路線延長20km及び排
水路6路線延長21kmの改修に取り組む。

55年第1回計画変更 用水支線を5路線、排水路1路線の追加改修に取組み、受益面積を7,069ha
に変更し、事業費7,480,000千円となる。

61年第2回計画変更 用水支線を3路線、排水路4路線の追加改修に取組み、受益面積を8,115ha
に変更し、事業費13,500,000千円となる。



この計画は、昭和八年の大旱魃の後、昭和十年に国の補助により県営

大利根用水事業として着手されました。昭和十五年には、

笛川用水機場と大幹線用水路が完成

し、兼田地点まで通水されました。

が、地区内の幹線用水路は、戦中・戦後

の資材不足等に悩まされ、昭和二十

六年によく完成しました。

続い

て一般県営用排水改良事業（二次県

営）として支線の用水路六路線、排

水路三路線の改修が昭和三十四年に

着工し昭和四十八年に完了しました。

この間に一次県営、幹線の老朽化

に伴い国営事業として昭和四十五年

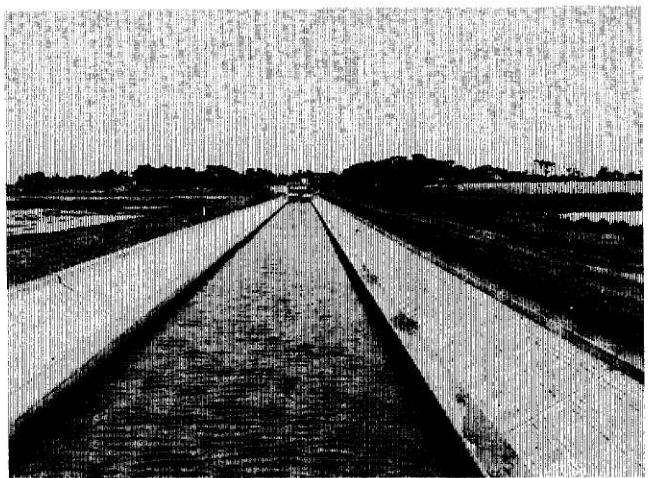
より大利根用水農業水利事業が着工

されました。またこれに伴い昭和四

十六年国営附帯県営事業として当事

業が着工されました。

海外研修



中国農業研修に参加して

会津中央土地改良区

阿部護郎

福島県土地改良団体職員連絡協議会の平成十一年度中国農業研修は、九月十九日より二十三日までの五日間の日程で実施されました。

参加者は、相双女性四名、いわき女性一名、県南男性一名、会津女性二名、男性五名、福島県土地改良事業団体連合会男性五名で、総数十八名となりました。

研修のスケジュールは一日目は福島空港より、空路で上海へ飛び、上

海泊まり、二日目は空路で北京へ飛

び、北京市内で天壇公園、紫禁城等

の世界遺産を視察させて頂き、北京宿泊

三日目は北京郊外で農場、世界

遺産の万里の長城、明の十三陵の

視察をし、北京宿泊、四日目は空路

で上海へ戻り、市内を視察し上海泊

まり、五日目には上海を発ち、福島

空港に戻る五日間ではありましたが、

好天に恵まれ、参加者全員元気に研

修を終えることができまして、関係

者各位に心より厚くお礼を申し上げ

ます。

福島空港で別れる際に、今回の申

ておりましたので、ご紹介いたします。

研修に参加された方の感想等届い

ておりますので、ご紹介いたします。

国農業研修の反省会を開催したいと言ふことになりました。二ヶ月後の一月二十日に都合で出席出来ない

方もおられましたが、県内各地より十一名の方の出席を願い、昼には私

の家で、私がうちました会津の新そばと田舎料理を食べて頂き、夜は芦ノ牧温泉不動館で一晩語りあかしました。

私は、昭和十五年辰年の生まれです。平成十二年には還暦の年を迎えることになります。門田堰土地改良区には昭和四十年代の後半から勤めさせて頂いておりますので、通算して三十年近くお世話になることになります。

最後に、歳男としての感想をと言ふことですので、少し述べてみたいと思います。

私は、昭和十五年辰年の生まれです。平成十二年には還暦の年を迎えることになります。門田堰土地改良区には昭和四十年代の後半から勤めさせて頂いておりますので、通算して三十年近くお世話になることになります。

その間、二つの土地改良区を吸収合併し、平成九年度には新たに隣接の土地改良区と新設合併して会津中央土地改良区としての設立の運びとし、又、平成十二年度には、隣接の会津若松市大戸町土地改良区も吸収合併することになっており、今後も

土地改良区の体质強化と組合員の負担軽減に当たつてまいりたいと考えております。

現在、農業情勢は混迷し、土地改良区の業務運営は厳しさをます一方であります。が、農業の多面的な役割が見直され、土地改良区の公的機関としての位置付が確立されれば、当然公的な補助金の交付もなされるものと思われますので、土地改良団体に席を置く、私達は受益組合員の心を心として業務に邁進してまいりたいと存ります。

中
國
紀
行

この程、海外研修の一員として、悠久の歴史とロマンの大陸中国を訪れる機会に恵まれ、かつてない大きな感動の想いをそのままに旅の足跡を辿り、連々の紀行に代えたいと思います。

霖雨の乾かない初秋の空の下、昼過ぎの福島空港から一路上海に向け

中国を代表する一大都市、上海

北京と近郊を巡る、四泊五日の旅はほんの束の間ではありましたが、見るもの、聞くもの全てが驚きと感動の連続でした。

どこか重厚で趣のある室拵えと故弓の生演奏による調べ、チャイナドレスで着飾る姑娘等、円卓を囲む上海最初の夕食は、まさに異国情緒そのもので、中国を感じさせてくれました。食事後は、中国のサーラスとして有名な上海雜技を見物、劇場内は海外からの観光客で溢れ、人間技とも思えないアクロバット的な演技を堪能する事ができました。

翌日は空路北京へ、天壇公園、中國の象徴でもあり、世界最大と言われる天安門広場から紫禁城（故宮）、景山公園と行く先々で目に写るもの全てがその壮大さで心を捕らえ、中でも七二ヘクタールと言う広大な敷地に立ち並ぶ、太和殿や中和殿等、数十に及ぶ殿閣は、五〇〇年余に亘り、其処で暮らした歴代の皇帝の息遣いが聞こえて来る様な、そしてあのラストエンペラーの一場面が、その儘再現するかのような錯覚さえ感じられる紫禁城と、故宮博物館に展示された無数の貴重な財宝は、絶大な権力と悠久の歴史を忍ばせ、目を見張らせるものばかりでした。

北京と近郊を巡る、四泊五日の旅はほんの束の間ではありましたが、見るもの、聞くもの全てが驚きと感動の連続でした。

どこか重厚で趣のある室拵えと故弓の生演奏による調べ、チャイナドレスで着飾る姑娘等、円卓を囲む上海最初の夕食は、まさに異国情緒そのもので、中国を感じさせてくれました。食事後は、中国のサーラスとして有名な上海雜技を見物、劇場内は海外からの観光客で溢れ、人間技とも思えないアクロバット的な演技を堪能する事ができました。

翌日は空路北京へ、天壇公園、中
国の象徴でもあり、世界最大と言わ
れる天安門広場から紫禁城（故宮）、
景山公園と行く先々で目に写るもの
全てがその壮大さで心を捕らえ、中
でも七二一ヘクタールと言う広大な敷

地に立ち並ぶ、太和殿や中和殿等、数十に及ぶ殿閣は、五〇〇年余に亘り、其處で暮らした歴代の皇帝の息遣いが聞こえて来る様な、そしてあのラストエンペラーの一場面が、その儘再現するかのような錯覚さえ感

り、其処で暮らした歴代の皇帝の息遣いが聞こえて来る様な、そしてあのラストエンペラーの一場面が、その儘再現するかのような錯覚さえ感じられる紫禁城と、故宮博物館に展示された無数の貴重な財宝は、絶大な権力と悠久の歴史を忍ばせ、目を見張らせるものばかりでした。

北京市街は、新生中華人民共和国の建国五十周年の國慶節の催を前に多彩に飾り付けられ、京劇観劇後の夜の街は光のページェントに彩られ経済大国の一面を見る思いでした。

三日目、北海公園から郊外にある農場「北京市東北班農工商連合總公司」を訪問、公司は、国有と集團とそして三資による多種経済形式によって構成され、恰も総合企業といった感じで、農業生産と食品加工の他、金属製品、建築業に至る迄、流通部門をも含めた企業經營をしていると言ふ。

農場では、水稻と野菜、果樹、ビニールハウス等々約一七〇〇ヘクタールを有し、区画整備もされ、水路は素堀状態で養魚もしているとの事であつた。公司内の民家は昔風を残し置かれている電化製品が何となく異様に映る中で、主人の老夫婦は、さも満足そうに暮らしを語ってくれました。

次は、北京の市街を離れ、世界の文化遺産として名高い万里の長城を目指し、車窓に見る異国の風景を追いかがら燕山山脈の山懷へと車で移動、途中歴代皇帝の墳墓遺蹟である明の十三陵を観歩き、更に西北にむつてかなりの道程を走ると、やがて

北京市街は、新生中華人民共和国の建国五十周年の國慶節の催を前に多彩に飾り付けられ、京劇観劇後の夜の街は光のペーパードレスに彩られ経済大国の一面を見る思いでした。

三日目、北海公園から郊外にある農場「北京市東北班農工商連合總公司」を訪問、公司は、国有と集団とそして三資による多種経営形式によって構成され、恰も総合企業といった感じで、農業生産と食品加工の他、金属製品、建築業に至る迄、流通部門をも含めた企業經營をしていると

農場では、水稻と野菜、果樹、ビニールハウス等々約一七〇〇ヘクターを有し、区画整備もされ、水路は素堀状態で養魚もしているとの事であつた。公司内の民家は昔風を残し、置かれている電化製品が何となく異

様に映る中で、主人の老夫婦は、さも満足そうに暮らしを語ってくれました。

次は、北京の市街を離れ、世界の文化遺産として名高い万里の長城を目指し、車窓に見る異国の風景を追いかながら燕山山脈の山懐へと車で移動、途中歴代皇帝の墳墓遺蹟である明の十三陵を観歩き、更に西北にむってかなりの道程を走ると、やがて

漸く万里の長城の名勝「八達嶺長城」の麓へ到着。紀元前五世紀、北方騎馬民族の侵入を防ぐ為に築かれた城壁が長城の始まりとか、以後数百年の歳月を費やし、数百万の農民と軍兵によつて築き上げられたと城壁は、高く澄み切つた初秋の青空の下、峰々を縫つて果てしなく続き、その雄大さは筆舌に尽くし難い感動を与えて呉れました。

最終日は再度上海へ、悠遠の中国を其の儘の姿で遺す山水の名園「予園」と予園商場。まるでヨーロッパをおもわせる建築物が立ち並ぶ黄浦灘路「外灘」、縁えの面影を保ち、東洋と西洋が混在する街、そしてエキゾチズムと近代中国のダイナミズムが共存する巨大都市を実感させる上海の街でした。

上海、北京駆け足五日間で目にしたものは中国のほんの一部でしか無かつたかもしませんが、遙かに祖国文化のルーツに触れる様な郷愁を覚え、何時か又訪ねてみたい、そんな想いを抱かせる異国の旅でした。快適な日和と、同行の方々に恵まれたこの旅に改めて感謝の念いを込めて……

▽○中国を研修して

福島県土地連
佐藤文雄

九月十九日、一路上上海空港を目指し、旅の安全と夢を乗せて一行は福島空港を飛び立った。幸い天候に恵まれ、良く晴れ渡った上空からの景色は、これから旅心をかきたててくれるのに十分のものでした。

刻々と過ぎ去る時間を、おしむかのように、「今何処だ、何処だ」等と下界の景色を脳裏に、インプットしているように、あちこちから声が上がっていた。やがて、上海上空に差しかかった時、誰もが期待した下界の景色は、あいにくの曇り空でがつかり、それでも時々雲の切れ間から見える中国の広大さには、ただくびっくりするだけでした。

無事に着陸したあと直ぐバスで市内を見物しホテルへ着きました。

上海は東洋一の大都會と言われているが、目につくのはやはり、「人」(十三百万)人口と、自転車のやら多い事でした。

翌日早朝、上海から首都北京へと飛行機で移動し、北京も上海に次ぐ

人口千二百万人の、中国最大の都市であり、天安門広場から連なる紫禁城(故宮)、月からも見えたと言う、万里の長城等は世界遺産として素晴らしい所です。特に天安門広場から

の美しい(奥へ約二キロメートル、十門位いか?)の中は、皇帝が生活した場所であり、調和のとれた彫刻と、展示された数々の財宝には驚くばかりで、又、明の十三陵の地下三

の美しい(奥へ約二キロメートル、十門位いか?)の中は、皇帝が生活した場所であり、調和のとれた彫刻と、展示された数々の財宝には驚くばかりで、又、明の十三陵の地下三



建築中の、マーケット街「デパート」二十数階建、五棟を並列したビルには、世界各国からの入居を予定。「東洋」を目指しての広さと大きさには、想像を絶する所があった。又、市内には広い緑の公園があり、早朝、数組のグループで、太極拳「氣功」やダンスをしている姿を見ると健康への深い関心度もうかがえた。

終日北京郊外にある「東北旺農工商連合總公司」、日本では農協組織で、然し中国では日本の市役所の役目を果たしているとのことです。案内していただいた職員の方(女性)は、福島市にも一、三週間研修生として、滞在した事があり、その後石川県で長く研修をされたそうです。流暢な日本語で挨拶され、農場を案内していただきながら、農家に立寄り(中流家庭?)話をされたが生活水準は、まだ我國

七メートルに埋設されている十数人の皇帝や皇后が眠っている巨大陵墓の皇帝や皇后が眠っている巨大陵墓も、素晴らしい中国四千年の歴史を語るにふさわしいものである。

中国の大都市、北京、上海は今ビル建築が盛んで十年先を見透かして建築中の、マーケット街「デパート」二十数階建、五棟を並列したビルには、世界各国からの入居を予定。

「東洋」を目指しての広さと大きさには、想像を絶する所があった。又、市内には広い緑の公園があり、早朝、数組のグループで、太極拳「氣功」やダンスをしている姿を見ると健康への深い関心度もうかがえた。

終日北京郊外にある「東北旺農工商連合總公司」、日本では農協組織で、然し中国では日本の市役所の役目を果たしているとのことです。案内していただいた職員の方(女性)は、福島市にも一、三週間研修生として、滞在した事があり、その後石川県で長く研修をされたそうです。流暢な日本語で挨拶され、農場を案内していただきながら、農家に立寄り(中流家庭?)話をされたが生活水準は、まだ我國

と比較をすると遅れているようだつた。案内途中に、畑を耕している若人が目に付いたが、三本鍬か(?)、人手によるもので日本との違いを目の当たりにする。北京最後の夜は、中國を訪問する世界各国の貴来客も必ず立寄る店(日本の訪問された歴代首相と大臣の写真も展示されていた)で、広さは三百人位の入客数と思われたが、「北京ダック料理」を楽しむ。「コンガリ」と丸ごと焼いたダック羽を「コック」さんが各テーブル毎に料理するサービスぶりで、一行は日本の首相気分を味わいながら大変盛り上がった所でした。帰りのバスの中では、「ヴィック」「ヴィック」と鳴声を上げながら、アヒルの一行はホテルへと向かったのです。

翌日上海へ移動し市内見物も終り夜の夕食会後には、夜景を楽しむ事が出来、高さ四六〇メートルの電波塔や、隣に立つ、六十数階のホテルの灯が、幅広い揚子江のさざ波に映える光景を思い出す時今も至福の感に包れます。

終りに、一緒に研修参加をさせていたいた、各土地改良区職員の皆さんに心から御礼を申し上げ、私の中国旅日記といたします。

(二)
(一)
(ハ)
(オ)

表郷村土地改良区

荒井 宏

白河から国道一一八号線を行くと、羽鳥湖なんかすぐそこだ。会津だってもう一走りのところだからそんなに遠くはない。

途中、ミミズみたいに曲がりくねつた山あいを上って蛇みたいにくねくねとした林の中を下ると、半分散りかかった広葉樹の葉がくれに羽鳥湖面の輝きがのぞく。

山の、高いところから中腹くらいまではもうすっかり落葉してしまつて、骨だらけの裸木たちが初冬の山風の中で貧乏搖すりしながら、互いの身を寄せ合っている。

「ニーハオ。ニーメンハオ。」
あと、お定まりの挨拶があつて薦められるまま早速テーブルに向かうと、このお宅の奥様お心尽くしの手料理がこちら狭しと並んでいる。

スキの集団が逆光を受けて白髪をなびかせている。

そうかと思うと、誰かが小石でも投げたみたいに、進路のわずか数メートル先を横切るものがあつて一瞬ハッときさせられたりする。あれはきっと、やんちゃ坊主の四十雀の仲間たちにあら。

違いない。

堰堤から左に折れて、下流で大川に出会うまでの鶴沼川に寄り添うように続く道は、ずっと下りの今まで、やがて国道一二二号線に合流する。

だから大川に架かる橋を渡ったところから左は鬼怒川、日光へと続いているのだが、今回は反対方向の会津若松市門田町への路程である。途中あちこちで道路工事中だったから、幾分時間はかかったようだけれど、それでもわりかたすんなり着いた。

いわき市から、たつた今着いたばかりのレディお一方が車からバッグを降ろしているところで、相馬と福島からの方がたはもっと早くして、すでに座敷の中である。

「ニーハオ。ニーメンハオ。」の身を寄せ合っている。

それでも、山すその所々には、モミジが赤ら顔の一杯機嫌で日向ぼっこしていたり、すっかり年老いたスキの集団が逆光を受けて白髪をなびかせている。

とにかく企業秘密になるものがあることに違いないのであるが、それにしてはコシがあり香りがあるのはどういう奥義が込められているのだろうか。

きっと腕前にしろ揃えた道具にしろ、ものはや趣味の域をとおり越している。

お住まいの地名をとつて「門田庵」とか「上村亭」とでも看板を掲げてはどうだろうか。

このあと、大内宿を散策してから、芦ノ牧温泉郷のホテルへと向かい、ひと風呂浴びたあと改めての宴席となつた。楽しかった。

改天見(じゃあ、またね)。だから、まだ記憶が新しいうちに、はやく次の反省会を開こうよ。

会津中央の阿部局長より、前もつて、詳しい道順を示した案内図と一緒に「新そばと会津みしらずを用意して待つてます。」というお招きをいただいての参集である。

数種類のめずらしい酒をいただいだところで、ご亭主が運んできた桐の「生舟」には見事に切り揃えられたそばが載せられていた。これは自作の表れなのである。

早速、皆で茹でたてをいただきてみると、色艶があつて喉越しもいいのは、いい粉を使っているからである

ことには違いないのであるが、それにしてはコシがあり香りがあるのはどういう奥義が込められているのだろうか。

中国視察研修

猪苗代町土地改良区

高橋 一三雄

平成十一年九月十九日(日)～二十三日(木)

(銀河賓館)
上海——北京 市内観光

北京市東北旺農工商連合総公司
天壇公園

紫禁城

万里の長城
明の十三陵

(京倫飯店)

上海

うか。なるだけ早いほうがいいのだがなあ。

翌日、一行は「塔のへつり」へと足をのばした。雑木林の、はらはらと落ち葉が降る中を歩くなんて何年ぶりだろうか。遠い遠い昔の思いに滲む絵巻物のようで、ほとんど忘れかけていた光景である。

だから、まだ記憶が新しいうちに、はやく次の反省会を開こうよ。

改天見(じゃあ、またね)。

あれから(視察研修?)一ヶ月が経過しました。

総務課（斎藤さん）から原稿の依頼が有りました。

ズーーっと気にかけながら今日（十一月三日）締切日になってしまいました。

月日の経つのは本当に早いものであります。

あわゆかばレポートを出さずに済まそうかと電話をしましたら、提出者が少ないので是非書いて欲しいと返事。スケジュール表を戴いてレポートを整理することとなりました。一緒に行った皆さんからはそれぞれにスナップ等お送り戴き大変お世話になりました。紙面をお借りして厚く御礼申し上げます。

実は二十年程前、やっと観光客の受入れが国策として打ち出された中國へ行つたことが有りました。当時は宿泊施設も観光地もまだ未整備で戦後の復興期を思わせるエネルギーッシュな躍動感、さらに人々とがれる時間の違いを感じて帰つてきました記憶が残っています。

上海は流石に国際都市であつたし、北京は建国五十周年の祭典の町の隅づみまで手入れが行き届き天安門広場のライトアップは目を見張るものがあり、昔の汚い感じは見られませんでした。

添乗員のアシストも大変良かつたし、現地添乗員もいろいろ勉強していく行き届いた説明を戴き充実した研修ができました。

上海も北京も物を売る商魂はたくましくややしつこさを感じ不愉快な思いをした方もいたようです。

添乗員さんと団長が買ってくれた明の十三陵での大きなモモは大変おいしかった事が記憶に残ります。

それぞれにいろんなお土産（思い出等）をいっぱい持ち帰ったことと思います。

最後の晩餐会には帰国後また山降りをやろうの合意を得て、阿部団長宅そして芦ノ牧温泉で再開の機会を得ました。全員参加とは行きませんでしたが、組合員運動の何たるかをふつふつと燃えたぎらせながら散会しました。

この研修を機会にステップアップして又お会いしたいと思います。



第22回全国土地改良大会開催される 《世紀を超えて伝える土と水》

愛媛県

全国土地改良団体連合会、愛媛県土地改良事業団体連合会は10月13日、愛媛県松山市の県民文化会館で第22回全国土地改良大会を開いた。

今年は、新たな「食料・農業・農村基本法」の制定、また、土地改良法が50年という節目の年に当たると同じに、新世紀も目前に迫っているときだけに、「大地に刻む21世紀のメッセージ」をテーマに開催した大会には、全国から3,300名余が参加し、本県からは、橋本・飯野両副会長、役職員のほか県内から52名が参加された。

はじめに、塩出愛媛県土地連会長の開会の挨拶があり、国家齊唱に続き、梶木全土連会長が「国民の財産である〈土と水〉を世紀を超えて次代に伝えることが我々の責務」と提唱し、大会を通じて農業農村が国民生活に果たしている役割の重要性とそれを支える〈土と水〉を基本とした農業農村整備の必要性をアピールしたい」と挨拶。

次に愛媛県知事、松山市長よりそれぞれ歓迎の言葉が述べられた後、来賓祝辞があり、農林水産大臣（代理、谷津義男総括政務次官）から、新しい基本法が食料の安定供給とともに、農業・農村整備がその基本理念を具体化する上で中心となる重要な施策であるとし、積極的推進を図ることを強調された。

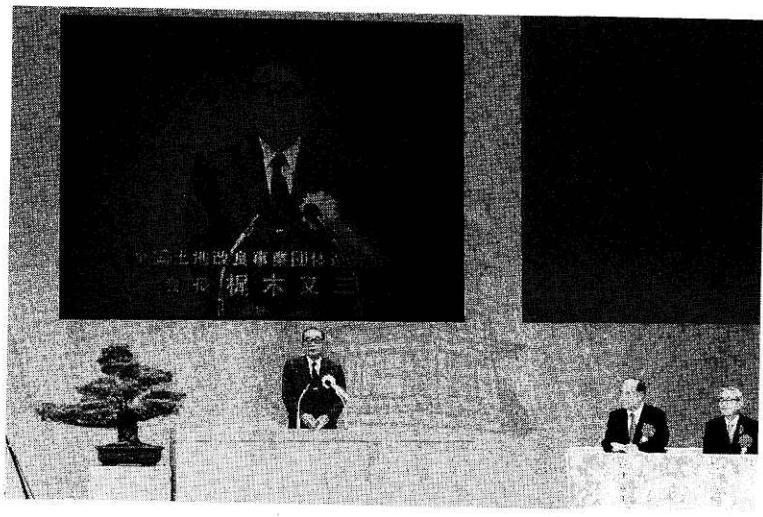
続いて功績者表彰に入り、本県からは三代土地改良区理事長木伏伸吉氏が全土連会長賞を受賞された。

また、基調報告の後「生産性の高い農業基盤の構築や美しく住みよい田園空間の創出などの課題に対し、大地に刻む匠の技、農業農村整備を駆使し、新たな千年紀に向かって豊かな国土を引き継いでいく」とした大会宣言を採択した。

記念シンポジウムでは「新世紀への農業プラン」をテーマとし、パネルディスカッション形式でコーディネーターに農政ジャーナリストの会、中村靖彦会長、パネリストに早稲田大学堀口健治教授、宮城県立大学アン・マクドナルド選

任講師、愛媛県土地連河野理事、全国農業土木技術連盟中道宏委員長を迎、自由化と日本農業、農地の維持、中山間地の振興などについて討議がなされた。このほか、アトラクションの部では、愛媛大学教育学部附属小学校の生徒たちによる合唱や戦国時代の村上水軍に因む能島水軍太鼓が披露された。

また、今回は、俳人正岡子規の郷土で開かれるのを記念して募集した記念俳句も披露された。



大會宣言

遙か弥生の昔に始まった米づくり、悠久の時と先人の叡知、そして気の遠くなるような手間を重ね、食料の供給のみならず、美しい国土や景観、文化をも育みながら、日本の農業・農村は、独自の進化を遂げてきた。

地球の温暖化や水資源の枯渇など、食料をめぐる環境問題が世界的に深刻する中、日本の農業・農村がこうして培ってきた持続的な農業生産を可能とする資源循環型システムに対して、熱い視線が注がれようとしている。

しかし、現下の農業情勢は、米の関税化等の国境措置の見直しをはじめとして、農村における過疎化、高齢化の進行など極めて厳しい状況にある。このような中、農業・農村が食料の供給のみならず、自然環境や国土の保全といった多面的な機能を有する国民共有の財産であることを再認識し、その基盤を整備して、次世代に豊かな「食料・環境・ふるさと」を遺することは、我々に課せられた最大

の責務である。

折しも、千年紀の暦が間もなくめくられようとする1900年代最後の年、新たに「食料・農業・農村基本法」が制定され、新しい理念のもとに、その第一歩を踏み出そうとしている。

生産性の高い農業基盤の構築や美しく住みよい田園空間の創造などの課題に対して、我々土地改良関係者は、大地に刻む匠の技、農業農村整備事業を駆使し、新たな千年紀に向かって豊かな国土を引き継いでいくことを、この記念すべき愛媛大会の名のもとに高らかに宣言する。

平成11年10月13日

第22回全国土地改良大会

（本県関係）
◎全土連会長表彰

木伏 伸吉 氏



○現職名
昭和六年七月三日生
○現住所
郡山市湖南町三代
字御代一三二三番地
三代土地改良区理事長

土地改良功績者

年男年女

昨年は、中二の子供が中学校の野球部に所属していることから、休日には、中学校へ出向くようになり二人の親と一緒に先生の手助けをするようになります。野球部員は六十名と多く、指導するには大変なものです。他校との練習試合の時は、主審を努め、遠征の時には、配車も行なうなど子供達といっしょに活動してきました。昨年、九月二十八日より行われた中体連新人戦、福島支部大会では、十六チーム参加中、四試合勝つて見事優勝を勝ちました。しかしながら、沢グリーンパークの球場で行われた県北大会では、初戦ハーフのスコア一

人戦、福島支部大会では、十六チーム参加中、四試合勝つて見事優勝を勝ち取り、指導の成果が現れました。

取り、指導の成果が現れました。しかししながら、沢グリーンパークの球場で行われた県北大会では、初戦ハーフのスコア一

で敗れ、県大会出場は、達成されませんでした。それでもチームの欠点をさらけだした試合で、次へ継げるものが見えてきました。さっそく、翌日はコンバートも含め、練習で汗をかき、新たな大会へスタートをきました。

その後、十一月には、野球教室が信夫ヶ丘球場とあづま球場で開催され、元プロ野球選手、県北各高校の監督から、各部門毎に熱心に指導をいただきました。

昨年は、本当にすばらしい経験ができました。

平成十二年も、新年を迎えるたなスタートをきりましたが、昨年経験できたことを活かして、本番である六月の中体連、県大会出場を目指す。今年を実の多い良き年にしたいもので

中学校の部活

土地連農地整備課 尾形長市郎

俺の元気

山都町土地改良区 遠藤敏雄

会員の皆様、お元気でお過しでしょうか。日頃より公私にわたり大変お世話になっております。

私が山都町土地改良区に勤務して、早いのか遅いのか、何の進歩もなく早くも二十三年経ってしまいました。

学校を卒業し福島市の中小企業に就職、事務的な仕事を五年間勤めましたが、訳あって会津の田舎に帰り現

在の職場に勤めさせてもらつております。農業、農政等に関しても、勿論のこと測量、設計などと、言う事聞く事が、初めてと言うか関心がなかった事から、とても心配しながら仕事をしていました。何事もそうかもれないが、初めは興味を持つて無我夢中で行うのですが、やればやる程奥が深いと言うか、難しい問題や疑問が出て来るものでした。そんな時、励ましご指導して頂いたのが職場の上司、諸先輩、又家族、友人でした。そんなこんなで二十三年間勤めてこれたと言うか、勤めさせていただいて居る事に感謝している訳です。又、土地改良区に勤務し色々な事業を担当ってきて、仕事もさる

事ながら人との出会いが、とても私にとって心の支えと言うか、生きている上での大変さを教えられている様な気がします。例えば工事に關係する地権者の方や土木工事を担当する会社の方、又、私と同じ様な仕事をしている会員の皆様との出会いが私にとって元気を授けて頂きました。私の元気の源は、人とのさまざまの友達、趣味を通じて知り会った友人、仕事を通じて知り会った方々と酒を呑み、歌い、踊り、泣いたり、笑ったりしながら、楽しく過ごすことが最高である。

会員の方も記憶にあるかと思いまが、連絡協議会総会後の懇親会では、皆さんと酒を呑み、語り合い舞台に上がり踊り、歌つたあの姿が、私の今日への活力となっているのです。難しい顔をしているより、笑っていた方が良い筈です。こんな考え方も単細胞人間ならではの哲学であります。それでは、会員皆様、又、いつか何処かであります。

『リスクマネージメントについて考えるのこころだー』

環境整備部施設設計課 工 藤 純 久

短期に集中して起きた事

安積疏水土地改良区 遠藤 準也



新年明けましておめでとうござい
ます。ミレニアムな一年のスタート
に雑事掲載させて戴くこととなり貢
を汚すよう恐縮ですが、此の度は

リスクマネージメントについての
お噂です……。

—お離子1入る—

さて、戦後五十余年が
経ち敗戦国の日本は高度
経済成長により大国の仲
間入りを遂げた一方で、
米国の指導的統治も手伝
いアメリカナイズされた
文化が発展しました。数
えて四度目の歳男を迎えた宮坂お父さんも長髪に
ラップペーンズでビートルズの真似をしたもので
す。また外来語・和製英

（造）語などもその文化の一つと思
われます。それら単語には洗練され
た好イメージがある場合と、それ自
体の経験的情報からネガティブに受
け止められるものがあるようです
が……。リスクマネージメントは

直訳すると危機管理（回避）となる
わけですが、何も仕事に関するだけ
でなく日常生活に必要なことであ
ります。その昔宮坂お父さんは彼女
を旅行に誘う計画を立てたそうです
よ。男らしくイニシアティブを取る
うと「特集一人で行く旅行」かなん
かの見出しがある雑誌を買い、北海
道一周、京都古都めぐり、それに彼
女の『お遍路さんしたいなー』と言つ
てたことを思い出し四国巡礼の旅と
三案作つたそうですよ。案の定、彼
女は四国を選び、宮坂さんは夜の巡
礼も楽しんだかどうかは次回の考察
で……。

—お離子2入る—

と言う様にリスクマネージメント
とはある事象について多様にシミュ
レートし最悪を免れることである為
適度の経験が必要なのです。といつ
て経験はそちらから来るものでなく
主体的に事に当たらねば自己消化も
叶わないと思われるのです。過ぎた
兎を忘れずアンテナを高くして、二
〇〇〇年が飛龍の年となるよう希望

しています。

二〇〇〇年という記念すべき年を
会員の方々をはじめ無事に迎える事
ができ、とても嬉しく思っている。
(もし、二〇〇〇年問題で日常生活
に混乱が起きた時は悪しからずご了
承の程を) 昨年を振り返り思う事は、
次から次へと起きた病気やケガにつ
いてである。

その中で特にひどかったのは、花
粉症と頸関節症だった。

四月下旬の頃に鼻の中がヒリヒリ
して痛みだした為病院に行き、アレ
ルギーテストをしてもらった。後日
結果を聞きに行ったら、アレルゲン
はイネ科植物のカモガヤだと知らさ
れた。しかも、アレルギー反応の値
がトップレベルに限りなく近いとい
うのである。それから炎症を抑える
薬を服用する事になった。

奥羽大学に行つたら、レントゲン
を細かくいろいろな角度で何枚も撮
られた。そして、先生から、「頸関
節症ですね。痛みは取れますか、頸
の骨の動きに違和感が生じています
ます。それについてはどうする事も
出来ませんと言われた。そして、歯
型を取りスプリント（ドラキュラの
変装に使う付け牙のような物）と呼
ばれる用具を作り、夜の間だけ装着

されています。
テイシユを詰めたが、それでも鼻水
が浸透して落ちてくるので詰めた物
を取つた。取つた瞬間、今度はくしゃ
みが止まらなくなり、とうとう手伝
いが出来る状態でなくなつたのでリ
タイアとなつた。今年の田植えの事
業からしばらくして、八月下旬
になつたら口があまり開けられなく
なり、物をかむことも困難になつた
ので、まず整形外科病院に行き診て
もらつたら、「紹介状を書くので、
直ちに奥羽大学（歯学部附属病院）
に行くように。」と言われたので、
急いで向かつた。

奥羽大学に行つたら、レントゲン
を細かくいろいろな角度で何枚も撮
られた。そして、先生から、「頸関
節症ですね。痛みは取れますか、頸
の骨の動きに違和感が生じています
ます。それについてはどうする事も
出来ませんと言われた。そして、歯
型を取りスプリント（ドラキュラの
変装に使う付け牙のような物）と呼
ばれる用具を作り、夜の間だけ装着

する事になった。

スプリントを使って数ヶ月がたち、口がだんだんと大きく開けられるようになり、痛みも無くなった。しかし、先生から固い食べ物の禁止令が出ているので、これをきちんと守つていれば再発しないもの

と考えられる。

他にも、ここに書ききれない程の病気やケガがあつたが、実際になってみると健康である事の有り難みが良く分かった。

会員の皆さんも病気やケガにくれぐれもご注意を。

（トイレ）「台所からの雑排水でヘドロ状になった側溝」「藻で汚れた河川」といった物をなくすという意識のもとに、仕事をしていましが、最近では、前述のような事柄を意識せずにおりません。

某家電メーカーのテレビCMではなくとも、ガソリンを使わない日はあっても水を使わない日はありません。

（トイレ）「台所からの雑排水でヘドロ状になった側溝」「藻で汚れた河川」といった物をなくすという意識のもとに、仕事をしていましが、最近では、前述のような事柄を意識せずにおりません。

（トイレ）「台所からの雑排水でヘドロ状になった側溝」「藻で汚れた河川」といった物をなくすという意識のもとに、仕事をしていましが、最近では、前述のような事柄を意識せずにおりません。

「地球に対する身近な倫理」

土地連 北原 大

WTO（世界貿易機関）
で環境問題に関連して、

農業の「多面的機能」の
文言をめぐって日本・EUと米国・豪州が対立し
たのは、記憶に新しいところです。

「恐怖の大王」は降つて戻ってくるといった昨今の現状には由々しきものがあります。

二十一世紀ではこれまで以上に科学技術の進歩が加速するとともに、インターネット等により、社会のグローバル化が進み、文化面での多様性や複合性が増幅され、境目の曖昧な時代にはなっていくものと予想されます。そしてそこには、環境問題、食料問題等の難問が山積されていることでしょう。

「恐怖の大王」は降つてきましたが、化学合成物質の低温焼却によるダイオキシンが降り注ぎ、人体への影響が確認されていない遺伝子組替え食品が表示もなしに売られ、石鹼に取つて代わった合成洗剤の大量使用が河川を汚染し、汚れた水が水道水とな



年男年女

年

年

年

年

年

年

年

年

年

年

年

年

年

年

年

年

年

年

年

年

年

年

年

年

年

年

年

年

年

年

年

年

年

年

年

年

年

年

年

年

年

年

年

年

年

年

年

年

年

年

年

年

年

年

年

年

年

年

年

年

年

年

年

年

年

年

年

年

年

年

気が付けば花嫁の父

土地連 石澤邦茂

五十年以上も前のこと、祖母は、一年中何時でも、何処でも民謡を唄っていました。農家ですから、夜なべ仕事や野良仕事に私達孫も当然手伝わされ、特に秋から冬にかけては柿の皮むき、タバコのし、縄もじり、藁草履作りなど出来、不出来は別として年長者の傍らでやらされました。そんな時祖母は会津磐梯山、佐渡おけさ、相馬盆うた、さんさしぐれ、長持ち唄等を気持ちよく唄っていました。

歌い継がれている訳です。甚だ唐突でありますが、私は未だ、郡山市日和田を発祥地とする民謡に出逢っておりません。江戸時代の日和田は、奥州街道の宿場町として安積郡きつて人口・物資集散地の賑わいが有り、また商工業では鍋と釜の鉄物生産で全国的な知名度が有り、色里も盛んであったと古文書や色褪せた錦絵に見られますので、民謡の一つ二つが日和田独特の変化を遂げて日和田〇〇節として唄い継がれていた筈だと考えております。

また、俳聖松尾芭蕉が『かつみ、



かつみ』と名花はなかつみを探し、

『山の井』の古歌への想いを胸に、

●秋田音頭（秋田県）
コラ いざれこれより 御免こう
むり

音頭の無駄を言う

お気にさわりも あろうけれども
さっさと出しかける

危険は百も承知。

でも、無事を確信して送り出す。

抑制の効いた、信頼を表す女性の
心情です。

小町は、本県小野町生まれと思っ

ているが、こうはっきり秋田出身

と唄われては、広い東京で俺一人

が『小町は福島県人だ』と頑張つ

て、信じて貰えるものか疑問だ。

仕事の提要は、確信、実行、宣伝

に在りと教えている。

民謡は、仕事唄から出発し、それが城下町、農山漁村、武家、商家、農家、又は仕事場、色里・料亭、喜怒哀樂の心の動きの移入等によりその場、その場で変化を重ね今の形になり、今も現代の世相を反映して変化を続けながら、更には創作民謡の登場も有りながら多くの国民に支えられ今まで唄い継がれて来たものと考えております。だから全国各地で、お国自慢の民謡が今でも脈々と

それは兎も角、私の車にはCD『日本の民謡』が入っています。印象深い歌詞について述べてみます。

●江差追分（北海道）
(本唄)

泣いたとて どうせ行く人
やらねばならぬ
せめて波風 おだやかに

★これ程、大胆、率直にお国自慢の出来る人に、ストレスはおこらない。コラッ…と大一喝、お前達…少々の迷惑は我慢しろ！。

乾杯、ソレッ、ソレッ、唄つて踊つて満場一致、問題解決…何とも気持ちがいい。

★危険な稼業の船乗りと女性の遣り取りです。

小町は、本県小野町生まれと思つてゐるが、こうはっきり秋田出身と唄われては、広い東京で俺一人が『小町は福島県人だ』と頑張つて、信じて貰えるものか疑問だ。仕事の提要は、確信、実行、宣伝に在りと教えている。

頃祖母と出かけると、人前でうめでた、めでたと唄っていた、と良く母から聞かされました。その祖母も、昭和四十八年七月、八十六才で他界しましたが、祖母を思う時に浮かぶのは、歌詞を噛みしめ乍唄つていた筈だと考えております。

たのだろう、と言ふことです。

● からめ節（岩手県）

からす啼くなく とこやの屋根で
お山繁昌と なくからす

★

これは、南部の鉱山で金銀の鉱石
選びの様子が続いた後に出て来る
歌詞で、情景の大展開に違和感を
覚える程だが、過酷な
作業の気分転換の清涼

剤と考えれば、先人の
発想に瑞々しさと物事
に拘泥しない逞しさに
敬服すべきか。

今だつて、仕事の出来
る人は、気分転換を上
手にやっていますよ。



子は仙台の『さんさしぐれ』を彷
彿とさせる。

ユッタリと唄う中に、堅固な信念
の雰囲気が漂う。

一度聞いただけで忘れ難い唄の一
つになった。

歌詞に『諸共によ』が続くが、お
座敷唄なら男女間の意味合いも有
ると思うのだが、それよりは、政
宗の子秀宗が仙台から四国・宇和
島に赴く時に、主従の絆の固さを
心中秘かに確かめ合う武士の美学
と、私はユッタリとした曲調から
想像するのだ。

● お立ち酒（宮城県）

またも来るから 身を大切に
はやり風など 引かねよに

★これを最初に聞いたのは、三十年

も前でしょうか。

NHKの民謡コンクールで須賀川

市の女性が、日本一になった時の
唄です。そして、今年十一月十三

日（土）車中で何気なくCDのス
イッチを入れ聞こえたのがこれで、
嫁いだ愛娘を想う父親の心の唄だ
と思い『ゾク、ゾクッ』と感動を
覚え、一人車中で何度も聞き返し
ました。

娘の嫁ぎ先を訪れた父親が、他人
の中で舅、姑と一緒に早く気心が
通じ合うようにと、さり気なく慈
愛を込めて娘を励ます挨拶唄だと
思います。

『はやり風など 引かねよに』

他でも耳にするサラリとした趣で
すが、この『またも来るから 身
を大切に』には、『父は帰るぞ、
でもお前の事が心配で。身体に気
を付けてな。』という、父の娘想
いの心情が十分に込められています。
娘は笑顔で『お父さん、有り難う。
心配しなくていいよ。』と、言い
ます。

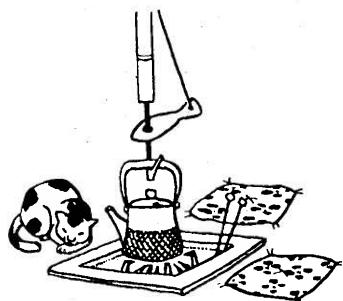
私の回りに、花嫁の父は何人もお
ります。

披露宴では、最後に花嫁の父を演
じてしまつた、と皆んな語つてくれ
ました。

長女の時、私は、そうはなりませ
んでした。

でも、『またも来るから 身を大
切に』を聞いた途端、歌詞を想え
ば想うほど、車中一人で、遅れば
せながらの花嫁の父になつたので
あります。

私は、もう一人娘がおります。
なお、郡山市日和田町は私の出生
地です。



★藩主は、仙台藩主伊達政宗の子秀
宗が入封。藩名も板島から宇和島
藩に改められる。題名、歌詞、調

武士は
ショーンガイナ

死ぬも生きるも エー諸共によ

永年勤続

春泥という言葉

土地連集落排水第一課 松村房雄

平成九年四月一日、集落排水第二課勤務を命ずる。人事異動での辞令交付である。

二十数年ぶりの技術職復帰であった。五十才を目前にしてSTART LINEにまたたつかと思ったとき、体裁のいい退職勧奨か？いや俺にはまだ家族のためにやめるわけにはいかない。もんもんとした、そんな気持ちで毎日を過ごしていたとき、こんな詩集が目に止まつた。表題の春泥という言葉である。

私はそれをナルホドさんから教わった。春になつて土がぬかるむようなことなのだろうか。花が咲き、虫や鳥たちが飛び交い、子供の声が明るくなるかもしない。「君、何ともかも順調に行かないのがサラリーマンというものさ」その人はガード下の屋台でぽつりと言つた。「そうでしょか。私なんかスタートから失敗の

連続ですよ。同期の中で自分ひとりが置いて行かれちまつてます」「そ

うかそれはいい」「よくなんかあり

ません。出世競争にもう立ち遅れています」「立ち遅れか……。なるほど。けどね人生は競争じゃないんだよ。」「そうでしょうか。初めっから諦めちゃ、後になつて悔やむじやないすつか」「悔やむか……、ナルホ

ド。どんな人だつて自分のしたこと

を悔やまない人間なんていないんだ。

無念ということを味わつて、そこから始まる人生もあるのさ。君にはまだ遠い先のことだが……いや、あつと言う間にそう思うときがくる。そ

のときには、準備をしておくのさ」「何をですか？」「悔やむことを知つて、無念を味わつてそれでもなお、

平気な顔をして生きていいくのが大人の男つてことをだ」

私の足元はぬかるんで歩きにくく

ないか。

こんな詩集を読んだとき、人生諦めじやなく覚悟を決めておく。そして平氣な顔していられれば最高かな……

1000年

北会津土地改良区 大竹 幸

新年明けましておめでとうござい

ます。

私が土地改良区にお世話になつて十年が経ち、昨年は十年勤続の表彰をいただきましたこと、心より感謝申し上げます。

二〇〇〇年の始まりは私の年です。私が迎える三度目の辰年と言いたいのですが、実は四度目です。

しかし、土地改良区の職員となる前は、宅地化を目的とした区画整理事業の仕事をしていましたので、農地を守る土地改良事業に関してはまだ未熟者です。北会津村は昭和三十八年度に県内で一番めの三千アール区画のほ場整備事業に着手し、昭和五十九年度で全村ほ場整備事業の竣工を迎え、県営土地改良総合整備事業も平成八年度に竣工と、本格的

今回の永年勤続で分厚い「広辞苑」の辞書を頂いた。これも何かの含みのある事なのかな？

な事業に携わった経験がありませんでしたが、十アール区画だった地区が、担い手育成基盤整備事業に着手しようと昨年百パーセントの仮同意書を得、今年調査計画の運びとなりました。

本土地改良区の事務所は村役場の中にあり、産業課長が事務局長を兼務しておりますが、やはり初めての経験です。不安は沢山ありますが、研修会で知り合い友達になつた土地改良区の職員の方や、関係機関の方々に、いろいろアドバイスや御指導をいただきながら頑張つてゆきたいと思つています。

私事ですが、昨年の秋長男が結婚し我が家に家族が一人増えました。女の子がない私は、娘が出来てとても楽しい毎日を過ごしております。

二人で料理を作ったり、買い物に出かけたり、夜は遅くまで話をしたり（研修で家にいない息子は少々やきもちをやいていましたが安心していました）

公私共に今年は新たなスタートで

す。土地改良区の職員は私一人でするので健康に気をつけて悔いのない一年が過ごせればと思っております。今年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

「私ひとりの受賞じゃない」

月形中野土地改良区 渡 部 千恵子

永年勤続十年の表彰を受けましたことにつきまして、心より御礼申し上げます。

十年一昔とはよく言いますが、本当に「あっ」という間に過ぎてきました。十年間でして、月日の経つ早さに驚き、「私もやっと十才になつたんだ」と思いながら鏡で映る自分を見るや異な、顔の皺や「白髪父じりの髪に」「・十才だあ」と、ひとり笑ってしましました。

中に採用となつた私は職務に対する知識・認識不足のなさから右往左往するだけで唯々然とした日々を過ごし、自分が宙に浮いている状態から不安が募り辞めてしまいたい気持ちにかられておりました。その時に気づかい励まして下さったのが私より一年前に職員となって頑張つておられた方の言葉でした。

「何もわからない同士、二人で力を合わせれば何とかなるよ。」

私も単純な者で、その言葉に幾分か気持ちが楽になり肩の力も抜けて、

ようやく職務に就くことができました。しかし、改良区の業務内容は膨大で相当の量、二人で分担して受け

一昔前の当土地改良区は県営ほ場整備事業月形地区が総面積百三十四ヘクタールの事業実施中であり、湖南東部地区は事業着工した年とあって事務所の中は人の出入りが激しく目まぐるしい忙しさでした。その最

教わらなければできない為に仕事の量が増えていく一方であります。相手の方は親切丁寧に教えて下さいました。

仕事にも慣れ、相手の方はたまりにたまつた事業関係の業務整理、私は事務関係の整理と仕事に追いまくられての日々を過ごしていた時、相手の方が入院することとなり、今までの事業関係の仕事の他に事業関係の仕事までしなければならなくなりました。

「どうしよう……」途方に暮れていますと、入院中である相手の方から電話があり、「こんなことになってしまった、すまない。自分にできることであれば何でもするから、わからることは聞いてほしい、君ならできる。」と。しかし、その時の私は何にも答えられず、悩みと不安でパニック状態でした。そんな私に入院中である身にも拘らず、毎日励ましの電話をいただきました。自分の病気よりも私の事を心配し、気遣ってくれていることを考えたら、「これ以上、心配かけられない、私も改良区の職員なのだから自分の仕事をとして精一杯やるしかない。」と思いつ、無我夢中で仕事をする日々が始まりました。病院と改良区の電話

は大事な掛け橋になると同時に患者であるにも拘らず改良区の仕事まで持ち込むことで、精神的にも多大な迷惑をかけることになつたというのに、何時も良き相談相手となつて励ました。その後、相手の方も退院し業務も再開されましたが、病気が再発致し一度二度の入院が続き、湖南東部地区の事業完了を目前にして竣工式を見ず、他界されました。

本当に残念でなりません。今私があるのは良きパートナーに恵まれ大事に育てて下さったお陰であり、「何もわからない同士、二人で力を合わせれば何とかなるよ。」の通り、何事も一人三脚で歩いて来た事でありますことから、永年勤続十年の受賞は私だけの物ではなく、私を育て下さったパートナーの物でもあります。

十年間、大勢の方に支えられながら土地改良区の業務に携わつて参りました私ですが未々未熟でありますので、今後に於いても会員の皆様や役所関係の皆様のご指導を賜り、七転八倒しながらも一步ずつ日々成長する自分でありたいと思います。

(6) 解散

(総会の議決方法等)

第十四条 総会の議事は、出席会員の過半数で決し、可否同数のときは議長が決する。

2 議長は、総会において選任する。
(幹事会の招集)

第十五条 幹事会は、会長が必要の都度これを招集する。

2 幹事会の議長は、会長がこれにあたる。
(幹事会の付議執行事項)

第十六条 幹事会は、次の事項を付議執行する。

- (1) 総会に付議すべき事項
 - (2) 総会で議決した事項の執行
 - (3) 総会の議決を要しない軽微な事項の執行
- 2 会長は、緊急の場合幹事会に代表して、書面又は口頭で幹事の意見を求めることができる。
(幹事会の議決方法等)

第十七条 幹事会の議事は、幹事総数の半数以上が出席し、その過半数で決し、可否同数のときは議長が決する。

2 監査員会は、必要的都度代表監査員がこれを招集する。

2 監査員会は、監査計画、その他この規約は、昭和五二年一月一八

必要な事項を付議する。

日から施行する。

この規約は、昭和五八年一月一日

(4) 前各号のほか、特に抜群の成績を挙げた者

(被表彰者推薦の方法)

第三条 被表彰候補者の推薦は、所属団体の長が行い職歴書を添えて

毎年五月三一日までに会長に提出する。

第四条 会長は、提出された推薦者に基づき疑義がない場合は決定する。

第五条 表彰は、毎年総会において

行う。

第十九条 この会の経費は、会費・贊助金及びその他の収入をもってこれに充てる。ただし、会費の額及び徴収方法は、総会でこれを定める。

第二〇条 この会の年度は、毎年四月一日に始まり三月三一日に終わる。
(年 度)

土地改良団体職員連絡

協議会功労者表彰規程

第五条 表彰は、毎年総会において

行う。

(目 的)

附 則

第一条 この会は、会員で県内の土地改良事業に功績のあった者を表彰して、土地改良事業の向上発展に寄与する。
(表彰の基準)

1 この規程は、昭和五八年四月一日から施行する。

この規程は、平成十一年四月一日から施行する。

(表彰の基準)

第二条 前条の規程により表彰される者で、土地改良事業の実施推進又は、土地改良区の業務運営に尽力し優秀な成績を納めている功労者とする。

1 この会員で、団体の職員として一〇年以上勤務した者

2 この会員で、団体の職員として二〇年以上勤務した者

3 この会員で、団体の職員として二〇年以上勤務した者

3 前項の職員は、会長が幹事会に諮つてこれを任免する。

附 則

この規約は、昭和五二年一月一八



子 集 編

二〇〇〇年が明けました。皆様には健やかに新年を迎えたこととお慶び申し上げます。

今年は二十一世紀への架け橋の年です。皆様は新しい世紀に向けて、どんなことをお考えでしうか。

“未来”はSFの映画のようにある日忽然と私たちの目の前に現れるものではありません。今を生きる私たちの願いや夢や生活が未来を創っていくのだと思います。未来に必要なものは何か? 世紀の変わり目の今年、考えてみるのも良いのではないか。どうか。

ともあれ、本年も健康で、楽しい一年を過ごされますようお祈りいたします。



“土地改良事業に関する業務は 土地連がお手伝い”

土地改良事業を行う会員の協同組織である県土地連は、土地改良事業の適切、かつ、効率的な運営の確保及びその共同の利益を増進することを目的とし、誠心誠意をもって、次に掲げる事業をお手伝いしております。

1. 技術的援助

- (1) 測量調査設計 (2) 実施・変更・出来型設計及び施工管理 (3) 確定測量
- (4) 換地計画及び登記申請書作成等の受託

2. 相談及び指導

- (1) 土地改良事業に関する相談及び農業基盤整備資金に関する指導
- (2) 土地改良管理指導センター・土地改良施設の管理に関する技術的な診断、指導
 - ・土地改良施設維持管理適正化事業に関する助言、指導
- (3) 換地センター
 - ・土地改良事業に関する換地事務の推進
- (4) 農村総合整備センター
 - ・農村総合整備事業の啓蒙普及及び技術の向上、指導

3. 電算処理

- (1) 土地改良事業工事費積算業務 (2) 換地業務設計及び経費積算 (3) 確定測量業務
- (4) 水文 (5) 水収支 (6) 土地改良区の賦課業務 (7) 各種土量計算



福島県土地改良事業団体連合会

会長 佐藤 栄佐久

〒 960-8502 福島市南中央三丁目36番地
TEL 福島 (024) 535-0371 (代表)
FAX 福島 (024) 535-1200